

よかよかだより

出張ボラセンで ボランティアの 一歩を踏み出そう

出前講座「出張ボラセン」を 行っています

センター職員が地域の皆さんのもとへ出向き、「ボランティア」に関するお話や情報などをお届けしています。

協働とふくしのまちづくりについて考え、ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか。

●対象 広川町に在住・通勤・通学している人で構成される、約5人以上の団体やグループ

●日時 (土)祝含めいつでも実施可能、9時～21時で希望する時間をお知らせください(1講座は約30分～2時間)

●場所 町内に限る(会場の手配をお願いする場合があります)

※日時・場所は相談の上決定するため、希望に添えない場合があります。

●内容 下表参照(いくつかの内容を組み合わせて行うことも可能です)

●費用 講師料不要、会場使用料や消耗品などは実費負担

●申込方法 開催予定日の1か月前までに当センターへお申し込みください(来館・電話)

ボランティア登録団体一覧を 更新しました

新しい登録団体一覧は、広川町社会福祉協議会ホームページの「ボランティアセンターよかよか」内に掲載しています。

登録情報をご確認ください

登録情報をもとにボランティアコーディネートを行っています。登録情報が変わったボランティアは、当センターへご連絡ください。

出張ボラセンの講座内容

	講座名	内容
1	はじめてのボランティア ～ボランティア活動のいろは～	ボランティアの基礎や活動の種類
2	ボランティアセンターって何？	広川町ボランティア活動センターの紹介 センターが行っていること
3	どんなボランティア活動があるの？	実際に活動しているボランティアの紹介
4	ボランティアとつながるには？	ボランティアを依頼したいときの手順 受け入れる時のポイントなど
5	ボランティア団体・NPO 法人設立講座	ボランティアの組織化 NPO を立ち上げるためのヒントと具体的な方法
6	テーマ別ボランティア活動の講座	活動のテーマに沿った講座 (傾聴ボランティア、災害ボランティアなど)
7	みんなが住みよいわたしたちのまち	福祉教育・福祉学習に関する講座 (車いす体験、アイマスク体験など)

ボランティア活動センター「よかよか」

はなやぎの里 2 階 平日 8:30 ～ 17:15 ☎ 0943-32-7073 FAX 0943-32-7074



下広川小学校

■校長：堤健治
■教頭：安達幸子

■住所：〒834-0121 福岡県八女郡広川町大字広川 1416 番地
■電話：0942-53-3824 ■FAX：0942-54-0751

広川町の学校教育

学年	児童数	学級数
1	43	2
2	42	2
3	38	1
4	55	2
5	33	1
6	38	1
特別支援学級	7	2
合計	256	11

町内で最も早く創設され、約140年の歴史と伝統を誇ります。木の香漂う新校舎で、256人の児童が学校生活を送っており、今年度は屋内運動場が竣工する予定です。

「進んで発表・考えて挨拶・元気に外遊び」を合言葉に、全職員が一丸となり、「チーム下広」として教育を進めています。11月9日には、学校・家庭・地域と一緒に「ふれあい活動」を行います。

学校教育目標

夢や希望をもち、知・徳・体の
調和のとれた子どもの育成

重点目標

自ら考え、表現する子どもの育成

下広川小学校新校舎が 「福岡県木造・木質化建築賞」 を受賞しました

昨年完成した校舎が、木材のよさを存分に活かした建築物として、「第5回福岡県木造・木質化建築賞」木質化の部で優秀賞を受賞しました。

【審査員の講評】

木造の2階建て小学校です。地域の豊富な森林資源を活用し、構造材や床、外装にスギ、ヒノキを徹底的に用いることで優しく温かみある空間を作り、教育に好ましい場を提供しています。また、内装家具やサインにも地域材が使われています。多目的ホールは湾曲集成材でシンプルな小屋組みとし、意匠的にも魅力的な大空間です。準耐火構造の柱、梁は燃えしろ設計を採用し、力強い木構造を見せています。

少人数学級での指導



あいさつ

相手のことを考えたあいさつ、時と場に応じたあいさつ、立ち止まってするあいさつができるよう指導しています。

下広オリンピック

昨年度の体力調査の課題である「長座体前屈」「立ち幅跳び」を中心に、11種目で技を競い合っています。

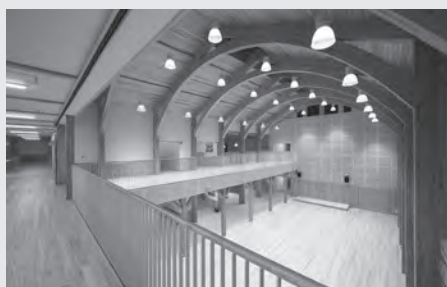


町内の小中学校紹介②

町教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943・32・0093
(内線262、263)





広川中学校

■校長：古川志乃
■教頭：下川泰信

■住所：〒 834-0112 福岡県八女郡広川町大字久泉 837 番地
■電話：0943-32-0132 ■ FAX：0943-32-6333

学年	生徒数	学級数
1	189	5
2	160	4
3	168	5
特別支援学級	14	3
合計	531	17

17学級、生徒数531人と、南筑後地域で最大規模の学校です。校訓「誠」のもと、学校教育目標の実現と「生徒にとって『わかる』『できる』『楽しい』学校」づくりを目指しています。子どもたちが「課題解決力」を身につけ、「主体的に取り組む力」を伸ばし、自分の考えを持った上で、さまざまな課題を解決できるように、教育活動に取り組んでいます。「誇れる広中」をスローガンに、「気づき」「考え」「実行すること」ができる生徒を育成しています。

部活動も盛んで、17の運動部、4の文化部が、それぞれの目標に向かって日々活動しています。

学校教育目標

社会や世界と向き合い、自らの人生をたくましく切り拓く生徒の育成

重点目標

課題に気づき、解決法を考え、実行する生徒の育成

重点1【発見力の育成】

学習面や生活面、将来の夢などに関する課題に気づく力を持った子どもの育成

重点2【思考力の育成】

気づいた課題の解決のために、様々な方法を考える子どもの育成

重点3【実践力の育成】

仲間と協働して課題解決のために、粘り強く実行し続ける子どもの育成

体育大会

生徒会や実行委員会を中心に、生徒が主体的に学校行事を行っています。「やった」「できた」という達成感や成就感を味わい、学校全体や学年・学級の仲間づくりに活かしています。



困難克服体験と社会人出前講座 [1年生]

職場体験・修学旅行・立志式 [2年生]

2年生の立志式では、1年生から取り組んだ進路学習のまとめとして、人生における目標を立て、どのように取り組んでいくのか決意表明を行います。

乳幼児ふれあい体験 [3年生]

広川町役場、民生委員・児童委員と協力して実施。赤ちゃんとのふれあいを通して自分の育ちを振り返り、多くの人の思いに囲まれて自分の人生があることを実感します。体験は進路選択に活かしつつ、最後にまとめとして「命の授業」を行います。

